

あゆち

愛知県図書館報

NO.5
2007.10

特集● 図書館で『食』を調べる

食育をはじめ最近なにかと話題の「食」について、
図書館で得られる情報をご紹介します。

「食」にまつわるいろいろな情報を集めながら、
その美味しさを図書館で“味わって”みましょう。



食を調べる その1 キーワードから探す

OPAC（蔵書検索）で検索

ひとくちに「食」といっても、食育や食生活、食文化、料理…と分野はとて多岐にわたっています。知りたいと思うテーマに関連するキーワードをいくつか挙げ、そのキーワードを使ってOPAC（蔵書検索）でタイトル検索していきます。

キーワードの例

書名やシリーズ名に含まれる単語で検索ができます

「食育」、「食生活」、「郷土料理」、「食文化」、「健康食品」、「サプリメント」、「食品衛生」、「摂食障害」、「外食産業」、「レシピ」、「スローフード」、「食品添加物」、「パティシエ」など
★その他、人名や地名などの固有名詞なども利用できます。

「健康」と「レシピ」、「食生活」と「愛知」など2つの言葉を掛け合せたり、長い言葉は2つに分けてみるのも一つの方法です。

★インターネットでも蔵書検索ができます。愛知県図書館ホームページをご利用ください。

例「食育」をキーワードに検索すると…



『楽しく食育』 砂田登志子／著 潮出版社 2005.5
(請求記号 498.5/スナ/870692)

いま、なぜ「食育」なのか？

長年世界各地をまわって「食育」を取材してきた著者が、ヨーロッパやアメリカで使われている食育の教材、そして日本各地で行われている食育活動の本をわかりやすく紹介しています。食育について知りたいという人への入門書といえる一冊です。

『食育白書 平成18年版』

内閣府／編 時事画報社 2006.12
(請求記号 R498.5/シヨ/916466)

国の資料で見る「食育」

食育に関するはじめての白書。食育推進に至る背景から、食育基本法（平成17年7月施行）の制定と基本計画の策定まで、さらに家庭や学校、地域における取り組みの紹介など、ここ数年の食育に関する国内の動きを調べるのに適した資料です。



【他にも…】家庭向けに子どもと一緒に作るためのレシピ満載の『チャイルド・クッキング 食育レシピ44』（請求記号 596/スス/898940）、保育所や学校の先生向けにさまざまな実践例を載せている『明日からの子どもの食育にすぐ役立つ本』（請求記号 374.97/コク/872873）などがあります。

愛知県の食育はどうなっているの？



『あいち食育いきいきプラン』

愛知県食育推進会議 2006.11
(請求記号 A498/71/911010)

愛知県では農林水産部食育推進課が窓口となって食育推進に取り組んでいます。昨年、食育に取り組む指針として「あいち食育いきいきプラン～愛知県食育推進計画」が作成されました。このプランには食をめぐる様々な問題や、それに対する具体的な取り組みが紹介されています。

★「あいち食育いきいきプラン」は、愛知県公式 Web サイト「ネットあいち」(<http://www.pref.aichi.jp/>)の食育推進課のページからごらんいただけます。



食を調べる その2 「分類番号」から探す

図書館の本には、内容によって分類された番号がついています。この番号はラベルの一番上の段に印刷され、その番号の順に本が書架に並んでいます。テーマやキーワードに関連する分野の分類番号と書架の表示を手がかりに、直接書架を探してみましょう！

分類番号

596
74
668067

「食」に関する主な分類番号

- 596 【食品. 料理】 各国料理、材料別の料理、パン・菓子類、飲み物、テーブルマナー
- 588 【食品工業】 599 【育児】 離乳食など子どもの食事
- 498.5 【食品. 栄養】 食品学、栄養学、食品添加物
- 383.8 【飲食史】 各地の食文化、歴史
- 他、913 【小説】、914 【随筆】など

★1つのテーマやキーワードでも、いくつかの分野にまたがっている場合があります。

(例)「食育」 ⇒ 498.5【食品. 栄養】／596【食品. 料理】
599【育児】／376.1【保育】

例 分類 498.5【食品. 栄養】



『それでも「好きなものだけ」食べさせますか?』

田中葉子、鈴木正成／著 日本放送出版協会 2007.1
(請求記号 498.5/タナ/910738)

3500枚におよぶ食卓の写真から見てきたものは…。いま子どもの食事に起こっていることを、詳細な調査と取材で明らかにしています。実際の食卓の写真や子どもたちが描いた食卓の絵は、一度見ただけでも強い印象を残すでしょう。

【他にも…】最近の子どもの食生活についての官公庁や民間の調査データを幅広く集めた『子どもの食生活データ総覧 2006年版』(請求記号 R498.5/二ホ/900972)などがあります。



『基本の離乳食 ゴックン期』主婦の友社 2003.10

(請求記号 599.3/キホ/846803)

生後5～6ヶ月ごろの赤ちゃんの離乳食の調理のコツとメニューをまとめた1冊。『モグモグ期』（7～8ヶ月頃）、『カミカミ期』（9～11ヶ月頃）、『パクパク期』（12～15ヶ月頃）とシリーズになっているので、赤ちゃんの成長にあわせてどうぞ。



『子どもごはん大百科』ベネッセコーポレーション 2005.6

(請求記号 599.3/コト/898641)

離乳食を卒業してから5歳までの、幼児期の食事を楽しむコツとアイデアがいっぱい。しっとり鶏そぼろ丼にまぐろのコロコロステーキ…写真を見ているだけでもおいしそう。具合が悪いときのメニューや食事としつけの「困った」Q&Aもあり、まさに大百科といえる本です。

【他にも…】「かむ」という行為から子どもの食に注目した『なぜ増えているのかまな子』（請求記号 599.3/ナセ/920701）などがあります。



食を調べる その3 テーマやコーナーで探す

テーマや資料種類別のコーナーを利用する

愛知県図書館には、資料のテーマや資料の形態で分けたコーナーがいくつかあります。特定の分野の資料が集まっているので、多くの資料を一度に調べられるのが利点です。

主なテーマ別・種類別コーナー [] 内は場所の記号：分類番号の前についています

■ [R] 参考図書コーナー（1階、3階、4階）

辞典、事典、統計、白書など、調べ物に役立つ資料を集めています。

■ [ビ] ビジネス情報コーナー（4階）

職業や資格についての資料や企業情報などはこちら。ビジネスに役立つ情報を集めました。

■ [A] 地域資料コーナー（3階）

愛知県に関係する資料を集めています。県内市町村の史誌や地域の雑誌などもこちら。

■ [Z] 新聞・雑誌フロア（2階）

2階全体が新聞や雑誌を集めた大きなコーナーとなっています。新聞縮刷版などもここに。

■ [J] 児童図書室（1階）※絵本、紙芝居は[E][K]

絵本、児童図書や紙芝居など。子供向けに書かれたやさしい本は要点をつかむのに便利です。

■ AV室（1階）

CD、カセットなどの録音資料、ビデオ・DVDなどの映像資料があります。

【他にも…】多文化サービスコーナー（3階）、視覚障害者資料室（1階）などがあります。

例 ビジネス情報コーナーで「食」を探す



『流通・フード・サービス 2008年度版
—最新データで読む産業と会社研究シリーズ』

大枝一郎／監修 産学社 2006.11

(請求記号 ビ° 673.7/リユ/913202)

流通業界をはじめ、外食産業などのフードビジネス業界に就職をめざす人のために書かれた最新ガイドブックです。



『食糧年鑑 2007 食品界資料・統計』

日本食糧新聞社 2007.4

(請求記号 ビ° 588.05/シヨ/917516)

前年(2006年)の食品産業界の詳細な動向が分かる資料です。

統計資料も多数掲載。図書館では1959年版より所蔵していますので、過去の統計も調べることができます。(一部欠あり)

【他にも…】

『よくわかる食品業界 改訂版』芝崎希美夫／著 日本実業出版社 2007.4

(請求記号 ビ° 588.09/シハ/914502)

『食品工業総合名鑑 2006』光琳 2005.12 (請求記号 ビ° 588.09/シヨ/904171)

『外食企業年鑑 2007年版』外食産業新聞社 2006.12 (請求記号 ビ° 673.97/カイ/916752)

『冷凍食品年鑑 2007年版』冷凍食品新聞社 2007.1 (請求記号 ビ° 588.95/レイ/910433)

例 新聞・雑誌フロアで「食」を探す

※新聞・雑誌は貸出できません

「日経レストラン」(月刊) 日経BP社

所蔵: 43号(1990.5)～ (請求記号 Z673/31)

飲食店の経営者などに向けて実務に役立つノウハウを掲載。

繁盛店の秘訣から飲食業経営の基本にいたるまで、現場取材に基づいた業界情報が提供されています。

雑
誌



新
聞

「中部飲食料新聞」(週刊)

中部飲食料新聞社 所蔵: 1年分保存

中部地区の食品・飲料・醸造に関する業界専門紙です。

業界動向はじめ、特集記事も多く掲載しています。

2007年8月7日号では「食育」の特集が組まれました。

【他にも…】

「食品商業」(月刊) 商業界 所蔵: 18巻7号=220号(1989.7)～ (請求記号 Z673/15)

「総合食品」(月刊) 総合食品研究所 所蔵: 13巻8号(1990.1)～ (請求記号 Z588/13)

「月刊麺業界」食品産業新聞社 所蔵: 16巻1号(1990.1)～ (請求記号 Z619/1)

「日本食糧新聞」(隔日刊) 日本食糧新聞社 所蔵: 1年分保存

「菓子飴新聞」(週刊) 菓子飴新聞社 所蔵: 1年分保存

例 地域資料コーナーで「食」を探す

『なごやめし それはパラダイス♥』 なごやめし研究会／編 双葉社 2005. 3

(請求記号 A590/ナコ/870458)

全国的にも有名な「なごやめし」。コーヒー一杯の値段でおなかいっぱい食べられるモーニング、ひつまぶしや味噌煮込みなどの絶品料理から甘口いちごスパ(!)なんてゲテものまで、不思議な名古屋名物が満載。全部まとめて写真入りでご覧下さい。



『愛知の地酒』 横田俊尚／著

丸善名古屋松坂屋店出版サービスセンター 1999. 4

(請求記号 A588/ヨコ/775331)

日本酒の奥深さに魅せられた著者が、県内の酒蔵を取材し愛知の酒についてまとめた力作。酒蔵データはもちろん、代表銘柄、蔵元のコメント、瓶・ラベルの写真など情報も豊富。お酒好きにはたまらない一冊です。

【他にも…】三河地方の風習や行事食、食の道具を写真や図で紹介する『安城 食の風景』

(請求記号 A383/アン/679596) などがあります。

『知って安心! あいちの食品 図解ハンドブック』

愛知県健康福祉部生活衛生課 2005. 3

(請求記号 A588/シツ/869040)

愛知県は昔から食品製造業がとて盛んな地域。出荷額が全国トップクラスのソース、みそ、食酢など、主な加工食品の原材料、製造過程を図や写真で紹介したハンドブック。表示や添加物についても詳しく解説しています。



* 愛知発の食品・食材



『もっと身近に愛知の野菜を 春夏秋冬』

東海農政局／編 東海農政局 2006. 3

(請求記号 A626/トウ/888795)

温暖な気候を利用して農作物の生産が活発な愛知県。田原・豊橋のキャベツ、稲沢・安城のほうれんそうなど収穫量の多い野菜を、生産量、県民消費量などの統計数字とともに解説しています。

『摘録 鸚鵡籠中記 元禄武士の日記』 上・下

朝日重章／著 塚本学／編注 岩波書店 1995

(請求記号 210. 52/アサ/669338, 671438)

元禄時代の尾張藩士・朝日文左衛門重章が34年間書き綴った日記「鸚鵡籠中記」。当時の風俗や生活がよくわかる貴重な資料です。そしてこの朝日、食べたものを細かく記録する癖があるようで…結婚式の献立、客を迎えてのふるまい料理、飲みに行った時のつまみまで実に詳細。この時代の人とはどんな食事をしていたのかがわかります。解説書『元禄御堂奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(A240/コ2)もあわせてどうぞ。

* 食と歴史と愛知





食を調べる その4 図書館の職員に聞く

図書館ではみなさまの調べ物のお手伝いをする「レファレンス」というサービスをしています。探し方が分からない、本が見つからないという時は、カウンターやフロアにいる職員に気軽にお声をかけて下さい。

★探すテーマやキーワードはできるだけ具体的に。資料を探しやすくなります。

★すでに調べたものがあれば、それもお伝え下さい。

例：『〇〇〇』という本にでていた、「〇月×日の△△新聞に載っていた」

『◇◇◇』は見たがわからなかった」など

本のタイトルが分からなくても大丈夫です。あきらめずにご相談ください！

★電話やメールでもご相談をお受けしています[調査相談専用電話：052-212-3200]

例 文学・エッセイ / 内容から本を探す

『江戸前食物誌』(ランティエ叢書 2) 池波正太郎/[著] 角川春樹事務所 1997.7
(請求記号 914.6/イケ/729564)



食を知る人のおいしいエッセイ

開高健、壇一雄、立原正秋…日本にも大勢の食通作家がありますが、やはりこの人ははずせません。池波正太郎が食べ物について書いたエッセイをまとめたのがこの本です。

「てんぶら屋に行くときは腹をすかして行って、親の敵にでも会ったように揚げるそばからかぶりつくように食べていかなきゃ。」
こんな目次を読むだけで、早くもおなががり鳴り出しそう・・・。

『ぎょうざのひ』

かとうまふみ/作・絵 偕成社 2001.5
(請求記号 E/カト/798384)

迫力の絵本！

とにかく迫力満点。作る楽しさ、食べる楽しさが表情豊かに描かれています。家族みんなでこの本を読んでぎょうざを食べると、盛り上がること間違いなしです。



●幻のゼリーが復活！

『しろばんば』 井上 靖/著 中央公論社 1962
(請求記号 B913.6/イ 3/29)

井上靖の自伝的小説「しろばんば」。少年時代の多感な心情が書きつづられた作品ですが、当時の食べ物や生活についてもよく描かれています。その中で、とてもこの美味しさを説明できない、と絶賛されている豊橋市の若松園の黄色いゼリーが、井上靖生誕100年を記念して、2007年初夏に復活、夏の季節限定で発売されました。



若松園が復活させた「洪ちゃの黄色いゼリー」

豊橋出身の作家が書いた、元祖「食育」本



『食道楽』 上・下 村井 弦斎／作 岩波書店 2005.7
(請求記号 913.6 /ムラ/874187, 875948)

尾崎紅葉、幸田露伴、坪内逍遙、森鷗外といった文壇の代表四人の本の売れ行きを合わせても弦斎一人の数分の一にすぎなかったと言われる。明治末期の大流行作家村井弦斎。豊橋出身の弦斎が報知新聞に連載していた新聞小説が『食道楽』です。料理を紹介しつつも生き方や教育を説く啓蒙小説でもありました。その考え方は現代の「食育」という考え方に繋がっています。ずばり「食育」という項もあります。

食 について、こんなお問合せがありました

Q. 『東海道名所記』や井原西鶴『好色一代男』などに出てくる「芋川うどん」について調べています。きしめんや関東のひもかわうどんのルーツとされているそうですが…

A. 東海道の紀行文などに書かれた、うどんが名物の「いも川」「芋川」という土地は、その記述からみて現在の刈谷あたりの地名だと考えられています。『刈谷市史 第2巻』(刈谷市, 1994)を見ると、「ひもかわうどん発祥の地」として、江戸時代の様々な文献で紹介された記述を元に芋川的位置について考察されています。芋川的位置には諸説あり、刈谷市今岡、今川が挙げられています。『角川日本地名大辞典 23 愛知県』(角川書店, 1989)の「今川」の項では、「いも川が転訛して今川となった」とされています。

うどんについての資料として『そば・うどん百味百題』(柴田書店, 1991)を見ると、きしめんの関連で芋川うどんのことが書かれており、きしめんの製法として寛延3年刊の『料理山海郷』が紹介されています。また、『日本料理由来辞典 上』(同朋舎出版, 1990)、『蕎麦辞典 改訂新版』(東京堂出版, 2002)にも芋川うどんについての説明があります。

また、インターネットで「芋川うどん」をキーワードに検索すると、刈谷市今岡町に「旧「芋川」の地＝ひもかわうどん発祥地」の碑が建てられており、芋川の名物平うどんが東に伝わり「ひもかわうどん」として現代に残っていると説明されていることがわかりました。

- 開館時間 火曜日～金曜日 午前10時～午後8時
(児童図書室・視覚障害者資料室は午前10時～午後6時)
土曜日・日曜日・祝日 午前10時～午後6時
- 休館日 ・月曜日、毎月第2木曜日
(その日が祝日(振替休日)に当たるときは開館、次の平日に休館)
・年末年始(12月28日～1月4日)
・館内整理のための休館(平成20年は2月28日～3月13日)
- 交通案内 地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分
※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
(最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで)

あゆち 第5号

平成19年10月30日発行

編集・発行 愛知県図書館
〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3
電話 (052) 212-2323 (代表) / (052) 212-3200 (調査相談)
URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

館報「あゆち」は
持ち歩きやすい
A5サイズに
なりました!